

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

旧CAI学会

## ニュース・レター No.111



### 第83回研究会募集のご案内

#### マルチメディア教材研究部会（部会長 / 磯本征雄）

マルチメディア教材研究部会を以下の要領で実施したいと思います。多数の研究発表をお待ちしていますので、ふるってご参加をお願いします。

1. 日 時：2001年7月7日（土）
2. 開催場所：信州大学工学部 電気電子工学科  
長野県長野市若里4-17-1
3. 申込み：信州大学工学部 電気電子工学科 大下眞二郎  
E-mail: oshita@oshan.shinshu-u.ac.jp  
または、教育システム情報学会事務局（E-mail: secretariat@jsise.org）
4. 申込締切：2001年5月31日（木）
5. 論文提出締切り：2001年6月15日（金）

### 事務局からのお知らせ

4月1日より教育システム情報学会事務局が兵庫県尼崎市の園田学園女子大学に移転しました。前号発行のニュース・レター No.110 にて知らせしました電話およびFAXの連絡先がこのたび変更となりましたのでお知らせします。なお、事務局あてのメールアドレスは従来どおり変更はありません（教育システム情報学会事務局長 / 山本 恒）。

新事務局

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

園田学園女子大学情報教育センター内 教育システム情報学会事務局

TEL 06-4961-6507 FAX 06-4961-6508

E-mail: secretariat@jsise.org http://www.jsise.org/

JSiSE2001

新世紀，初の全国大会...

## 第26回全国大会のご案内

前号のニューズレター（No.110）でもお知らせいたしましたように、新世紀を迎えて初めての全国大会が、8月7日・8日と大阪大学にて開催されます。「教育システム新世紀～IT革命を超えて～」を大会テーマとして、講演・パネル討論会・企画セッション・発表セッションを予定しております。多くのご発表，ご参加をお待ちしております！

なお，前号でお知らせいたしましたプログラムの内容に一部変更がございます。大会ホームページをご覧ください。

開催日時 2001年8月7日（火），8日（水）  
場 所 大阪大学コンベンションセンター  
〒565-0871 吹田市山田丘1-1

## 発表・参加申し込み

発表申込〆切：2001年5月26日

発表原稿〆切：2001年6月23日

参加申込〆切：2001年7月14日

発表・参加申込は，申込書に必要事項をご記入の上，大会事務局まで郵送またはFax でお願います。なお，全国大会ホームページでも申込受付を開始する予定です。

## 大会参加費

参加費	1,000円（プログラム込み）
論文集代	6,000円（事前申込の場合，5,000円）
論文投稿費	1,000円（別刷50部込み）
懇親会費	6,000円（事前申込の場合，5,000円）

## その他の行事

8月6日13:30～16:00 若手研究者の集い  
8月6日13:30～16:00 情報教育フォーラム（IEC主催）  
8月6日17:00～19:00 ウェルカムパーティ（JSiSE関西支部主催）

## 大会事務局

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1  
大阪大学産業科学研究所知能アーキテクチャー研究分野内  
教育システム情報学会第26回全国大会事務局  
TEL.06-6879-8426 FAX.06-6879-8428  
E-mail：JSiSE2001@ai.sanken.osaka-u.ac.jp

## 全国大会ホームページ

<http://www.ai.sanken.osaka-u.ac.jp/JSiSE2001/>

## 第11回情報教育フォーラム

主催：情報教育学研究会（IEC）

テーマ：技術・法・倫理による総合的セキュリティ

日時：8月6日（月） 13:30-16:30

場所：大阪大学 コンベンションセンター

プログラム：

13:30-14:50 研究発表

情報倫理教育，総合的セキュリティに関する発表 3件予定

14:50-15:00 休憩

15:00-16:30 講演

弁護士，近畿大学・関西大学講師 岡村久道先生

テーマ：「情報倫理と情報教育－情報法学の視点から－」

発表・参加に関するお問い合わせは...

田中規久雄（大阪大学） kikuo@kwo.saka-u.ac.jp

## JSISE全国大会若手の会ワークショップ参加・発表募集！

（合同開催：関西支部主催 卵 RUN フォーラム）

テーマ：メタ認知・リフレクション・自己モニタリングおよび一般

開催日：平成13年8月6日（月）

場所：大阪大学 コンベンションセンター（大阪府吹田市山田丘1-1）

概要：パソコンの普及のおかげで、誰もが日常生活のひとつの道具としてコンピュータを使う時代になってきました。教育・学習においても、その道具を有効活用することが求められています。コンピュータを学習者が持っている知識の整理に用いたり、インターネットに接続して、世界中の Web ページを教育コンテンツとして利用したりなど、様々な利用方法が提案されつつあります。今回の JSISE 若手の会ワークショップでは、メタ認知、リフレクション、自己モニタリングを中心に、教育・学習におけるコンピュータの新しい利用方法と、そこにおける知識の相互作用と学習について議論したいと思います。また、WBT、遠隔教育、協調学習、ハイパーメディアを用いた学習など、様々な一般のテーマの発表も募集いたします。若手研究者、学生の方は言うまでもなく、自称「若手」の方の発表も大歓迎です。参加だけでも可能ですので奮ってご参加ください。

参加費：ワークショップの参加費は、全国大会参加費に含まれます。

発表原稿〆切：平成13年8月23日（土）

ワークショップでの発表原稿は、8月7日より開催されます全国大会予稿集に掲載されます。

申し込み/照会先：和歌山大学システム工学部 曾我真人

E-mail: soga@sys.wakayama-u.ac.jp（電子メールにてお願いいたします）

発表申込〆切など最新情報は、全国大会ホームページでも順次掲載していきます。

## 研究発表・参加申込書

- 参加形態
- 発表する
- 一般講演
- ポスターセッション
- 英語セッション
- デモセッション
- ※な行、企画セッションへの発表申込はございません。  
ご了承ください。
- 発表しない
- 一般参加
- ※一般参加の方は、「連絡先」のみご記入ください。
- 総親会に参加する

発表タイトル

要旨 (200字程度)

キーワード (5つまで)


著者名

お名前	所属

※適名でご発表の場合には、口頭発表者に○をつけてください。な行、著者のうち1名以上が本学会会員でなければなりません。(当日までにご入会ください。)

連絡先

宛先	
住所	〒 <input style="width: 90%; height: 30px;" type="text"/>
Tel.	(    )    -
Fax	(    )    -
E-mail	<input style="width: 90%; height: 30px;" type="text"/>

事務局からの  
諸連絡  電子メール  郵送

※事務局からの諸連絡を電子メールにて受取可能な場合には、電子メールにチェックを行願いたします。

送付先：〒567-0047 大阪府箕面市美穂6-5-1 大阪大学産業科学研究所知能アーキテクチャー研究分野内  
教育システム情報学会第26回全国大会事務局  
Fax: 06-6879-8428

※発表・参加申込は、申込書に必要事項をご記入の上、大会事務局まで郵送またはEメールで行願いたします。な行、全国大会ホームページでも申込を受け付けて行ります。

※会場までのアクセス情報及び宿泊案内は、大会ホームページでも公開していく予定です。

※本申込書が手元に届くのは、発表申込締切後になると思われるので、締切に付ましても、大会事務局までお問い合わせください。

# 教育システム情報学会第26回全国大会

会期：2001年8月7日（火）～8月8日（水） 会場：大阪大学コンベンションセンター

## 宿泊のご案内

2001年8月7日（火）より2日間の日程で、大阪大学コンベンションセンターにて開催されます。「教育システム情報学会第26回全国大会」に際しまして、参加者の皆様方に下記のように特別料金にて宿泊のご案内をさせて頂いております。お申し込み先着順の宿泊受付となりますので、以下の申込要項をご参照の上、お早めにお申し込み頂きますようお願い申し上げます。

1. 宿泊のお申し込みについて 宿泊設定日：2001年8月6日（月）、7日（火）、8日（水）

ホテル名	部屋タイプ	ホテルコード	宿泊代金 (ルームチャージ)	アクセス
千里阪急ホテル	シングル	A S	¥9,817	地下鉄「千里中央」駅より徒歩8分
	ツイン2名利用	A T	¥16,747	
オオサカサンパレス	シングル	B S	¥7,276	モノレール「万博記念公園」駅より徒歩8分
	ツイン2名利用	B T	¥14,553	
サニーストンホテル 新箕	シングル	C S	¥6,900	地下鉄「江坂」駅より徒歩1分
	ツイン2名利用	C T	¥11,000	

当学会特別料金でご案内させて頂いております。

上記宿泊料金は1泊あたりルームチャージ、税金・サービス料込の料金となっております。

ホテルはお申し込み順で受付致しますので、ホテルが満室となった場合にはご了承下さい。

予約金（シングル1室につき9,000円、ツイン1室につき16,000円）と弊社事務管理手数料（ホテル1室の申し込みにつき500円）のお支払いをもって予約とさせていただきます。

1泊のみのご宿泊で、宿泊代金が9,000円（ツインの場合は16,000円）を下回る場合は、予約金は1泊分の宿泊料金で結構です。

例) サニーストンホテル・シングルにて1泊のみの予約の場合、6,900円+500円（手数料）

2 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）チケット販売について

学会の会期にあわせ、以下のとおり2001年8月6日（月）～9日（木）の入場予約を受け付けします。なお、チケットの販売のみとさせて頂いておりますので料金には交通費等は含まれません。

	大人（12歳以上）	子供（4～11歳）	シニア（65歳以上）	
個人スタジオバス	5,500円	3,700円	4,000円	スタジオバスは入場当日の全てのアトラクションが利用できます。

本大会期間中は夏休みに当たりますので、非常に予約が混みあうことが予想されます。ご希望の日に予約が出来ない場合はご容赦下さい。

チケットの販売に関しまして、入場される日を指定して予約を入れる為、行かれる日を指定してお申込下さい。

3歳以下の幼児は無料です。

8/6-9の間の営業時間は09:00～21:00です（変更の可能性があります）。

代金の支払いをもって予約とさせていただきます。

USJのホームページ：<http://www.usj.co.jp/>

### 3 お申し込み方法

**お申し込み締切日**：2001年7月6日(金)必着

添付申込書に必要事項をご記入頂き、下記の方法で各種代金をご入金の上、下記お申し込み先宛てにファクシミリもしくは郵送にてお送り下さい。

**ご入金方法**

各種代金を下記のいずれかの方法にてご入金下さい。

- 1) **銀行振込** 銀行名：三井住友銀行 梅田支店  
口座番号：2603258 口座名：近畿日本ツーリスト株式会社  
銀行送金の控えのコピーを申込書に添付の上、お送り下さい。  
入金時の振込手数料はお客様ご自身にてご負担下さい。
- 2) **クレジットカード** 必要事項を申込書にご記入下さい。
- 3) **現金書留** 申込書と代金を書留にて送金下さい。

申込書到着後、ご入金が確認できた方に「予約確認書」をご送付いたします。

### 4 宿泊予約のご変更・お取消

- ・宿泊の取消または変更は必ず書面にてご連絡下さい。取消の場合は以下の取消料金と規定の送金手数料を申し受けたうえで差額をご返金させていただきます。
- ・ご連絡なしに宿泊初日お泊まりのなかった場合は以降の宿泊は自動的にお取消させていただきます。
- ・ご返金は学会終了後となりますので悪しからずご了承下さい。
- ・予約のお取消の場合には事務管理手数料は返金できませんのでご了承下さい。
- ・取消が弊社営業時間外にあたる場合は、次営業日の取消として取り扱われます。ご注意ください。

【取消料金】宿泊初日基準として

- 9日前～2日前までの予約の取消の場合・・・1泊分の宿泊料金の20%
- 前日の予約の取消の場合・・・1泊分の宿泊料金の50%
- 当日の予約の取消、無連絡による不泊の場合・・・1泊分の宿泊料金の100%

### 5 ユニバーサルスタジオ・ジャパン予約のご変更・お取消

- ・取消または変更は必ず書面にてご連絡下さい。
- ・取消の場合の払戻しは、入場予定日の翌日から起算して27日以内に限り、近畿日本ツーリスト(株)大阪国際旅行支店にて可能です。また、以下の取消料金と規定の送金手数料を申し受けたうえで差額をご返金させていただきます。

【取消料金】入場予定日を基準として

- 前日までの予約の取消の場合・・・無料
- 当日および翌日から起算して27日以内は・・・1名につき100円

#### 宿泊お申し込み・お問い合わせ先

近畿日本ツーリスト株式会社 大阪国際旅行支店 「教育システム情報学会」係

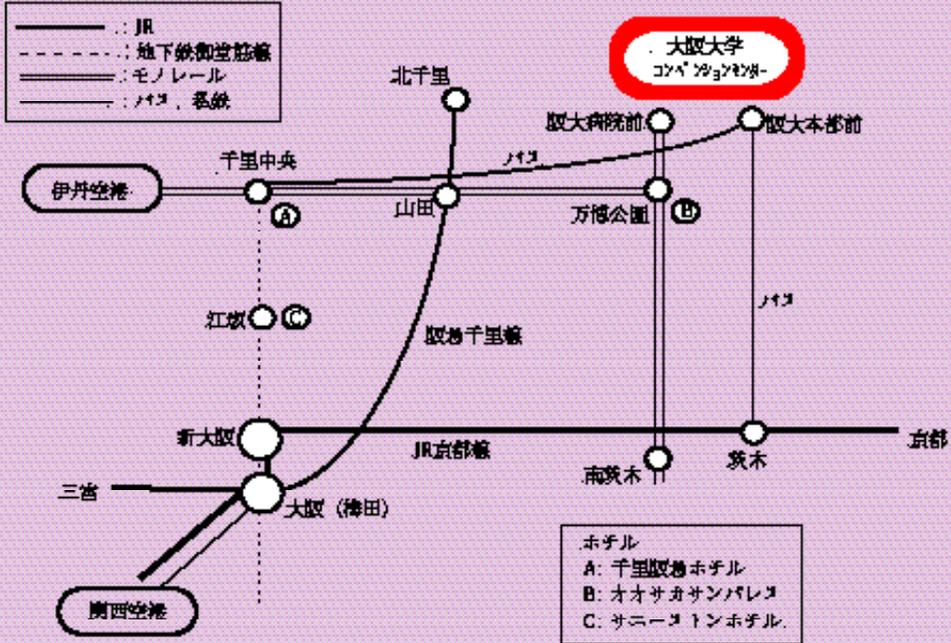
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル10F

電話：06-6448-8969 FAX：06-6448-2414

e-mail：intlosa@ora.knt.co.jp

(営業時間：月～金曜日 9:00～17:45 土日祝は休み)

JSISE第26回全国大会  
会場およびホテル地図



新入会員の紹介

2001年3月21日～2001年5月9日

新入会員（敬称略）

JSiSE-A0101775 竹内俊彦 青山学院大学 正会員  
 JSiSE-A0101776 松浦秀起 福井大学 準会員  
 JSiSE-A0101777 奥田篤士 福井大学 準会員  
 JSiSE-A0101778 新井康平 佐賀大学 正会員  
 JSiSE-A0101779 石井成郎 名古屋大学大学院 準

会員  
 JSiSE-A0101780 後藤 豊 筑波技術短期大学 正  
 会員  
 JSiSE-A0101781 大平雅雄 奈良先端科学技術学  
 院大学 準会員  
 JSiSE-A0101782 植野真臣 長岡技術科学大学 正  
 会員  
 JSiSE-A0101783 安田孝美 名古屋大学 正会員  
 JSiSE-A0101784 清水英典 玉川学園 正会員  
 JSiSE-A0101785 山城新吾 大阪大学大学院 準会  
 員  
 JSiSE-A0101786 中村 修 日本電信電話(株) 正  
 会員  
 JSiSE-A0101787 森脇一郎 神戸市立六甲アイラン  
 ド高等学校 正会員  
 JSiSE-A0101788 今井亜湖 大阪大学大学院 準会  
 員

## 国際会議の案内

ここで紹介されている国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますのでそちらのほうもお待ちしております。

本案内はWWW ( <http://www.fu.is.saga-u.ac.jp/hayashi/jsise/conf.htm> ) で見ることもできます。

VSM2001: The 7th International Conference on Virtual Systems and MultiMedia

**開催日程** : 2001年10月25-27日

**主催** : The International Society on Virtual Systems and MultiMedia

**開催地** : University of California, Berkeley, USA

**論文応募締切** : 2000年6月18日

URL: <http://www.vsmm.org/vsmm2001>

e-mail: [vsmm-sec@vsmm.org](mailto:vsmm-sec@vsmm.org)

ISAR '01: The Second IEEE and ACM International Symposium on Augmented Reality

**開催日程** : 2001年10月29-30日

**主催** : IEEE Computer Society

**開催地** : Columbia University, New York, NY, USA

**論文応募締切** : 2000年6月5日

URL: <http://www.cs.columbia.edu/graphics/isar2001/>

e-mail: [navab@scr.siemens.com](mailto:navab@scr.siemens.com)

ACM VRST 2001: ACM Virtual Reality Software and Technology

**開催日程** : 2001年11月15-17日

**主催** : ACM, SIGGRAPH, and SIG-CHI

**開催地** : Banff, Alberta, Canada

**論文応募締切** : 2000年5月30日

URL: <http://www.cs.ualberta.ca/vrst2001/>

e-mail: [vrst2001@csis.hku.hk](mailto:vrst2001@csis.hku.hk)

IEEE VR2002:

**開催日程** : 2002年3月24-28日

**主催** : IEEE Computer Society

**開催地** : Marriott Hotel, Orlando Florida, USA

**論文応募締切** : 2000年9月1日

URL: <http://www.VR2002.org/>

e-mail: [papers@www.VR2002.org](mailto:papers@www.VR2002.org)

以下前号にも掲載

ICCE/SchoolNet 2001: International Conference on Computers in Education

**開催日程** : 2001年11月12-15日

**主催** : APC of AACE

**開催地** : Seoul, Korea

**論文応募締切** : 2000年5月31日 (締切延長)

URL: <http://www.icce2001.org/>

e-mail: [icce001@icce2001.org](mailto:icce001@icce2001.org)

ICDM2001: The 2001 IEEE International Conference on Data Mining

**開催日程** : 2001年11月29-12月2日

**主催** : IEEE Computer Society

**開催地** : Silicon Valley, California, USA

**論文応募締切** : 2001年6月15日

URL: <http://kais.mines.edu/xwu/icdm/icdm-01.html>

e-mail: [xindong@computer.org](mailto:xindong@computer.org)

CSC2002: Computer Support for Collaborative Learning 2002

開催日程：2002年1月7-11日

開催地：Boulder, Colorado, USA

論文応募締切：2001年6月1日

URL: <http://csc2002.org/>

e-mail: [gerhard@cs.colorado.edu](mailto:gerhard@cs.colorado.edu)

Education

開催日程：2002年3月18-23日

主催：AACE

開催地：Nashville, Tennessee, USA

論文応募締切：2001年10月19日

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

SITE 2002: annual conference of the Society for Information Technology and Teacher

国際会議案内文責 松原行宏 (香川大学)

E-mail: [matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp)

## 第82回研究報告

### 【言語・知識処理応用研究部会】

ここに掲載してあるのは、概要ですが、これらの論文は、研究報告書にあります。ご希望の方は、事務局までFAX(06-4961-6508),またはE-mailでお申し込みください。1部1,300円(送料共)です。残部切れの際はご容赦ください。この「研究報告」の年間購読(購読料は送料込みで年間4,000円)をご希望の方は事務局までご連絡ください(年間6回)。この際、ぜひ購読されますようお願いいたします(教育システム情報学会研究委員会委員長/大下真二郎)。

- ・開催日：2001年3月9日
- ・場所：東京理科大学 理窓会館

#### 1. 知的ドリルC-interest - その解答診断法と数式入力インターフェース -

奥田富蔵・及川義道・米内山等(東海大学),  
大塚一徳(東海大学福岡短期大学)

われわれは、化学の溶液混合の演習問題を対象とする実用的な知的教育システムC-interestの開発を進めている。それは知的ベースと推論エンジンを備え、演習問題を解き、学習者の解答を診断して、その状況に応じた知的学習支援を行うドリルである。C-interestは必要最小限の知識ベース、効率的、頑健な(robust)解答診断機能、負荷の小さい数式入力インターフェースを特徴とす

る知的ドリルはである。

#### 2. プランと解決事例によるガイダンスを行う学習支援システム

川上清人・渡辺卓摩・館野允人・田原雪岳  
・伊丹誠・伊藤紘二(東京理科大学)

問題型ごとに一般に複数の解決プランがあり、解決プランは問題型を要素とする手続きとして組み立てられている。しかし、問題解決能力の向上は、解決事例エピソードの文脈を伴った手続き的な外延が、こうした階層的な解決プランの窓で淘汰確定されてゆく過程であるという仮説に立ち、課題解決過程のなかでプランニングを支援するときに、候補プランの階層構造の窓を通して解決事例を検索参照させ、一方、システムは、学習者に

よる解決過程の入力を受け取って、要求があれば、診断を行う。ネットワーク上でこれらの支援を議論支援とともにを行う共同作業上の試作について発表する。

3. 高校化学の計算問題演習におけるテキストとイメージを用いた学習支援  
吉川清士・井上ゆかり・高橋勇・小西達裕  
・伊東幸宏（静岡大学）

本稿では、計算問題が解けない学生に対して、不足していたり誤っている知識の学習を支援する教育支援システムについて述べる。一般的に、計算問題が解けない学生に対し、計算に必要な公式的知識のみを説明するのではなく、その知識が成り立つ仕組みを説明することが本質的理解につながる。本稿では、高校化学の計算問題を対象とし、粒子を用いたモデルを使って問題世界を可視化したり、説明文を掲示したりする能力を持った、ILE・ITS統合型の教育支援システムを提案する。

4. 学術論文理解における視覚情報の活用について  
加藤由香里・岡本敏雄（電気通信大学大学院）

本研究は、外国留学生を対象とした文章理解支援システムの開発を目指し、内容理解と図表情報の活用との関係を明らかにする。そのために、2種類の実験を行った。

実験1では、図表呈示の有無が内容理解に与える影響について検証するために、図表呈示群・非呈示群を設定して比較実験を行った。その結果、日本語学習者への図表呈示の効果は認められず、内容理解を促進しないという結果が得られた。

実験2では、図表呈示群から自由記述データを収集し、図表上のどの構成要素に着目しているという方略的観点から37カテゴリーに分類した。このカテゴリーをクラスター分析により、4カテゴリー「分類」「特徴」「言い換え」「図の項目」に再分類し、内容理解度との関係を分析した。その結果、内容理解度の高い上位群は、図表の構成要素と文章表現とを結びつけて積極的に「言い換え」を行っていたが、内容理解度の低い下位群は断

片的な構成要素の「特徴」を読み取る傾向が見られた。

5. アニメーションによるリフレクションを指向した英作文学習支援  
國近秀信・坪根浩二・平嶋宗  
・竹内章（九州工業大学）

本稿では、リフレクションを促すことを目的として、アニメーションを用いて学習者が入力した英文を可視化する英作文訓練システムについて述べる。本システムは、正しい物語の情報を用いて解析結果の曖昧性の解消や情報の補完をおこなってアニメーションを生成する。もし入力文が意味的な誤りを含んでいる場合には、その誤りをアニメーションにより可視化する。

6. 情報共有と知識共有のための言語処理技術の最前線 Language Centered Information Management Systemの提案  
辻井潤一（東京大学）

#### 【招待講演】

7. テキストとの間に双方リンクをもたせる電子単語帳の履歴を利用する英文読解支援システム  
掛川淳一・関谷正則・中村宏・伊丹誠  
・伊藤紘二（東京理科大学）

第二言語の読み書きの学習を対象として、語ないし表現（collocations）とそれが使われる文脈的状況的コンテキストとのリンクを、エピソード間の比較対照によって獲得してゆくという仮説にもとづく支援システムを提案する。読み手が、テキスト上の単語や表現から電子辞書をひき、意味を選ぶと、これが、自分用の単語帳に、テキスト上の位置とともに記録される。別のテキスト箇所から、該当する単語帳項目を索くとテキスト箇所が追加されるとともに、同じあるいは関連する或いは対立する単語帳項目に記録されたテキスト箇所にもどって、使われている文脈を比較対照することができる。